

第4回あかしあ台リング道路街路樹のあり方検討会 報告

あかしあ台リング道路街路樹のあり方検討会

日時：2020.2.9.（日）10:00～12:00

於：あかしあ台コミュニティハウス集会室

辻コーディネーター 赤澤先生（人と自然の博物館）委員出席 20名 傍聴 4名

三田市：道路河川課（課長以下2名）

ひと・杜・暮らし あまがえる（植栽業）木下ご夫妻

計 31名

第1回検討会では、辻コーディネーターからこれまでの経過説明と論点の整理に引き続き、赤澤先生から「今までの街路樹 これからの街路樹」のテーマで街路樹のあり方の基礎知識を学びました。第2回目は、さらに議論を進めるために、赤澤先生から「街路樹と生物多様性」のテーマで講義していただきました。第3回検討会では、赤澤先生から「街路樹環境の見方」の講義を受けた後、参加者全員でリング道路現地見学会を行ない、コミュニティハウスに戻り意見交換および今後の方針についての検討を行ないました。第4回目は、コーディネーターの辻先生、人と自然の博物館の赤澤先生、三田市で植栽業を営む「ひと・杜・暮らし あまがえる」の木下ご夫妻、三田市からは、道路河川課から片山課長以下2名にご出席いただきました。委員の出席は20名中20名、傍聴には4名の方のご参加をいただき、合計31名の参加となりました。第4回検討会の概要をお伝えします。

配布資料

「第3回リング道路街路樹のあり方検討会報告」「リング道路歩道・車道幅員図」

「秋田県小坂町の街路樹について」・「札幌市の街路樹について」（三田市資料）

「樹木図鑑より ハリエンジュ・エンジュ・ボダイジュ・フリーシア（ニセアカシア）」

1. 辻コーディネーターより

4回目の検討会になった。今回は、これまで議論・現地見学で確認してきたことをふまえ、結論へ向けてどのような選択肢があるのかを議論したい。方向性が見えてくるのであれば、まとめに入りたい。まだ、不十分であればさらに検討を継続させる必要がある。地域に配布されている第3回検討会の報告書の現地見学後の検討会意見交換のまとめを再度確認することから始めたい。

① 根上りと歩道の安全確保

- ▶ 歩道の安全確保のためには、ニセアカシアの根上りの解消が早急に求められる。根上りによる不規則な凹凸は、高齢者にとっては危険きわまりない。現に、電動自転車で転倒し、大腿骨骨折等の大けがをした高齢者もいる。また、子どもを前後に乗せた自転車で幼稚園や保育園に送り迎えする母親も増えている。
- ▶ 並木は美しくても、足元を見れば歩道舗装面の補修跡は、あまりにもみすぼらしい。景観の上からも足元にも目を向けて欲しい。
- ▶ ニセアカシアは、根が浅く地表面を這い、根から萌芽を繰り返し勢

第5回リング道路街路樹のあり方検討会

日時：2020年3月22日（日）10:00～12:00

場所：あかしあ台コミュニティハウス集会室

傍聴可能です。多くの方々のご参加をお待ちしています。

新型コロナウイルスの関係で延期する可能性があります。自治会事務所 565-2870 までお問い合わせください。

力を拡大する。根上りの解消は基本的に困難である。(赤澤先生)

- ▶ 内側歩道の A・C (P.3 参照) は、植樹柵が 3m あり、他の部分の植樹柵と比較すると倍の幅がある。また、内側歩道 E の部分は中央植樹帯と道路側植樹帯の間が 2m の土舗装になっており、何れの部分もニセアカシアの根上りはおこっていない。

② 侵略的外来種に指定されたニセアカシアを今後維持できるか 樹種転換は？

- ▶ 県からも今後植えてはいけない樹木に指定されているため、新たに植樹することは諦めざるを得ない。老木化するなかで徐々に樹種転換をはかる必要がある。
- ▶ あかしあ台にとって、立派に美しく成長し美しい花を付けるニセアカシアは、住民にとって、愛着のある無くてはならないシンボルツリーとなっている。何とか維持できないかという住民の心も大切にすべきである。シンボルツリーとして部分的にも残す方向を模索したい。
- ▶ ニセアカシアをシンボルツリーとしている札幌市・秋田県の小坂町へのヒアリング調査の報告が道路河川課から出ている。根上り防止・倒木防止のためにグランドアンカー工法などがあると報告されているが、現に植えられている樹木にも採用可能か(植樹の際に導入する工法で、既存樹木には採用できない)。

③ 樹種転換が必要である

- ▶ 徐々に樹種転換をせざるを得ないというところで合意が取れそうだが、リング道路の内側中央植樹帯に植えられているエンジュはウメゴケがついたり、生育不良の樹木が多い。あかしあ台の土壤に適しているのか不安である。
- ▶ 六甲山系ではイヌエンジュが多数自生している。あかしあ台の地層は造成後の岩盤が主体で植樹のためには、十分な土壤改良が求められる環境である。(木下氏)
- ▶ 樹種転換については、今後、慎重に検討する必要がある。一樹種の「統一の美」を追求するのではなく、複数の樹種による「多様性の美」を追求することも可能である。これからの重要な検討事項となる。

④ 里山の管理手法をつかったニセアカシアの再生

- ▶ 切り株からの萌芽や実生からの萌芽を利用したニセアカシアの再生(里山で取り入れられている持続的な樹木管理の方法)については、現段階で試行中であり、今後の研究課題でもある。持続可能な街路樹管理を考えると街路樹を巨木化させないという観点が重要である。(辻・木下)

⑤ 街路樹の管理は市と住民の協働作業で

- ▶ 街路樹問題は、単に樹種を転換して歩道の修復を実施するだけでは解決しない。行政サイドからは人口の高齢化や減少にともなう税収の減少、労働力の減少等で街路樹の維持管理をどのように持続可能な方法で実施するかが喫緊の課題となっている。あかしあ台でも、住民組織との協働の手法を取り入れる方向で、小公園の除草・管理などが進んでいるが、住民サイドも高齢化・定年の延長による地域活動人材の不足等で大きな問題を抱えている。落葉の清掃ですら手に負えなくなっている。街路樹のあり方の検討の中で、持続可能な街路樹の管理をどのように見直し解決するかを考える必要がある。

⑥ 場所によって異なるリング道路街路樹のあり方を解決するには

- ▶ 第3回検討会から、リング道路をAからEのゾーンに分けて検討する案が提案されている。これまでの議論で検討会の合意点も見えてきた。AからEのゾーンをさらに内側歩道と外側歩道に分けて検討を進める必要がある。
- ▶ これまでの検討会の経過の過程で、下記の事項はほぼ確認されたと考えたい。
 - ・老木化したニセアカシア・病木・危険木と診断された木については伐採する。
 - ・切った後の切り株については朽ち果てるのを待たざるをえない？
 - ・外側歩道とニセアカシアの街路樹（F～H）は根上がりが顕著で、安全管理の観点から、早急に方針を決め改修工事を進めなければならない。その際、植樹柵の幅や樹種・樹間・植樹工法等を見直す必要がある。
 - ・内側歩道については、歩道幅が十分にあり、A～Eのゾーンごとに多様性に富む計画を作成することが可能である。植樹柵の拡幅・中央植樹柵の取り扱い・透水性舗装の採用等、時間をかけて納得できるプランを作成する余地がある。

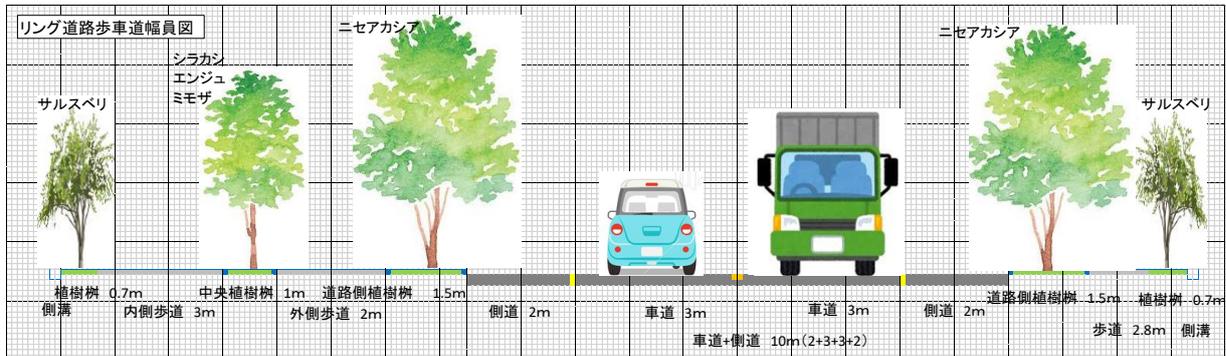
⑦あかしあ台住民への広報活動

- ▶ あかしあ台住民には、検討会を開催した都度、報告書を戸別に配布して周知徹底をはかってきたが、住民の十分な理解を得られているとは思えない。5月半ばのアカシアの花さく時期に、アカシアの花まつりでも催して、住民の関心を引き付ける必要があるのではないか。(2020年度まちなみガーデンショーは5月23日(土)24日(日))

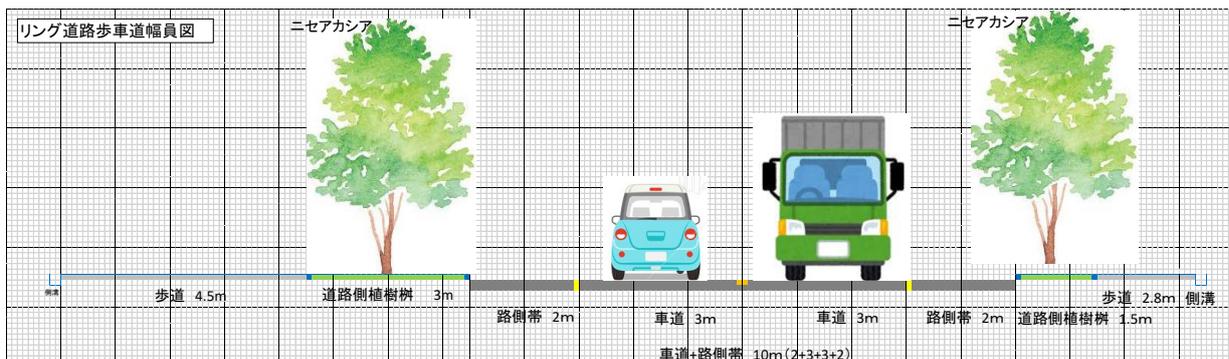
⑦ まとめ

- ▶ まち作りは楽しんで行う必要がある。季節の移ろいを感じるまち作りは夢がある。今回は、話し合いの中で、だいたいこんな形でまとめられるかなという着地点が見えてきた。

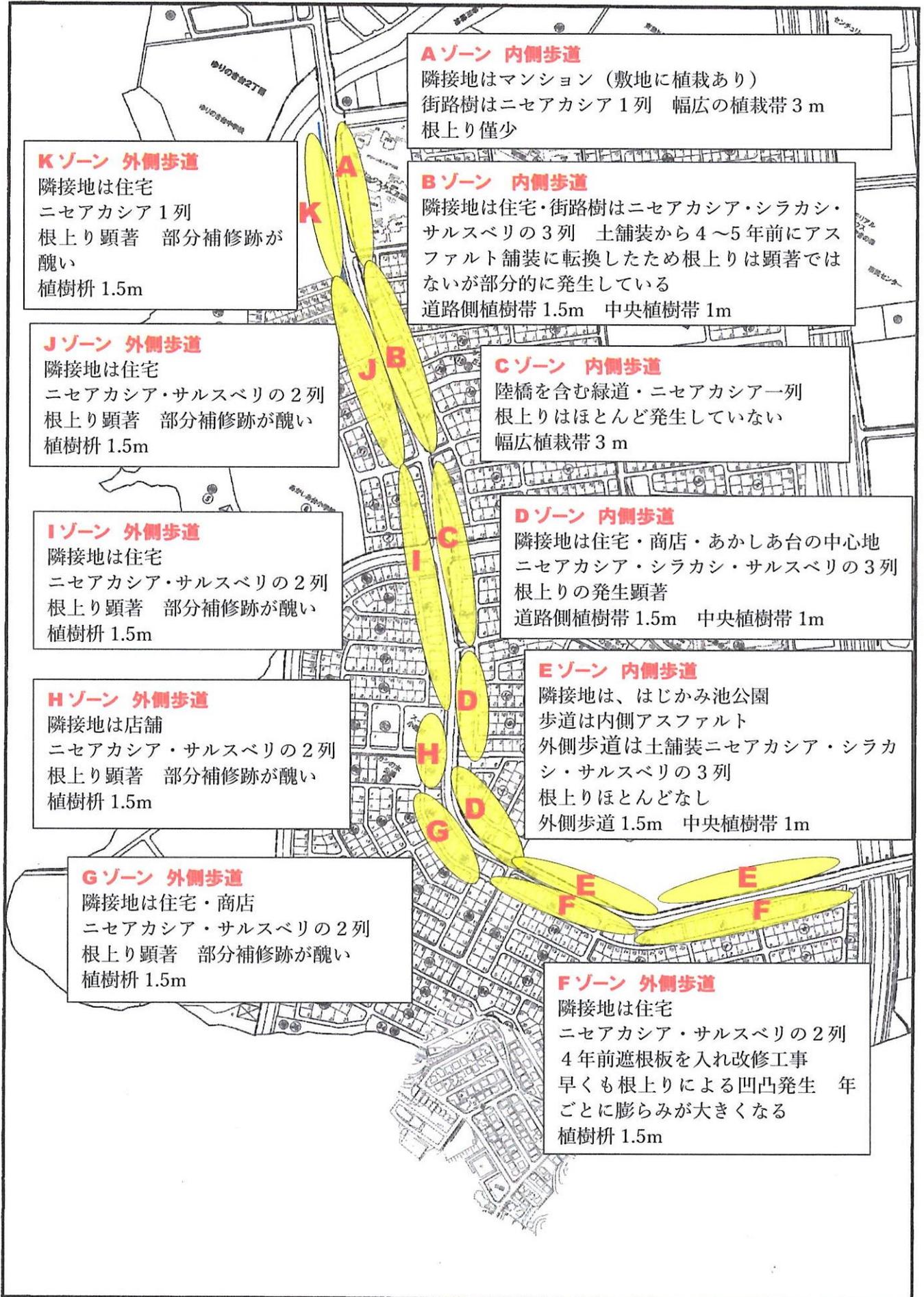
リング道路歩車道幅員図 (B・D・E 次ページ図版参照)



リング道路歩車道幅員図 (A・C 次ページ図版参照)



あかしあ台リング道路歩道街路樹 整備区分図 2020.2.20.



Aゾーン 内側歩道
 隣接地はマンション（敷地に植栽あり）
 街路樹はニセアカシア1列 幅広の植栽帯3m
 根上り僅少

Kゾーン 外側歩道
 隣接地は住宅
 ニセアカシア1列
 根上り顕著 部分補修跡が醜い
 植樹柵1.5m

Bゾーン 内側歩道
 隣接地は住宅・街路樹はニセアカシア・シラカシ・サルスベリの3列 土舗装から4～5年前にアスファルト舗装に転換したため根上りは顕著ではないが部分的に発生している
 道路側植樹帯1.5m 中央植樹帯1m

Jゾーン 外側歩道
 隣接地は住宅
 ニセアカシア・サルスベリの2列
 根上り顕著 部分補修跡が醜い
 植樹柵1.5m

Cゾーン 内側歩道
 陸橋を含む緑道・ニセアカシア一列
 根上りはほとんど発生していない
 幅広植栽帯3m

Iゾーン 外側歩道
 隣接地は住宅
 ニセアカシア・サルスベリの2列
 根上り顕著 部分補修跡が醜い
 植樹柵1.5m

Dゾーン 内側歩道
 隣接地は住宅・商店・あかしあ台の中心地
 ニセアカシア・シラカシ・サルスベリの3列
 根上りの発生顕著
 道路側植樹帯1.5m 中央植樹帯1m

Hゾーン 外側歩道
 隣接地は店舗
 ニセアカシア・サルスベリの2列
 根上り顕著 部分補修跡が醜い
 植樹柵1.5m

Eゾーン 内側歩道
 隣接地は、はじかみ池公園
 歩道は内側アスファルト
 外側歩道は土舗装ニセアカシア・シラカシ・サルスベリの3列
 根上りほとんどなし
 外側歩道1.5m 中央植樹帯1m

Gゾーン 外側歩道
 隣接地は住宅・商店
 ニセアカシア・サルスベリの2列
 根上り顕著 部分補修跡が醜い
 植樹柵1.5m

Fゾーン 外側歩道
 隣接地は住宅
 ニセアカシア・サルスベリの2列
 4年前遮根板を入れ改修工事
 早くも根上りによる凹凸発生 年ごとに膨らみが大きくなる
 植樹柵1.5m